



SIMCO通信

令和7年6月25日
第171号 発行
発行者 畑尾 大橋



6月とは思えぬ猛暑日が続き、「梅雨どこ行った！！」と言いたくなる今日この頃です。
弊社でも、工場勤務の社員が汗だくになりながら作業している場面を見る日が増えてきました。
天気予報を見ても6月下旬まで最高気温30度超が続いており、熱中症が心配です。

対策活動

先月のSIMCO通信で紹介いたしました安全推進者主導のもと、
熱中症アラートおよび暑さ指数(WBGT)を確認する表を設置しました。
暑さ指数とは熱中症予防を目的として、1954年にアメリカで提案された指標です。
平成18年から、環境省から情報が提供されています。
暑さ指数(WBGT)は乾球温度計、湿球温度計、黒球温度計による計測値を使って計算されます。
弊社では、右の熱中症アラートとその近くに暑さ指数の表を設置することで各自その時の数値を確認し、
水分・塩分補給などの対策を取れるようにしております。
また、冷蔵庫に保冷材等を用意するなど対策の幅を広げる活動も行っております。

気温 (気象)	24℃	24~28℃	28~31℃	31~35℃	35℃以上
暑さ指数 (WBGT)	21℃未満	21~25℃	25~28℃	28~31℃	31℃以上
危険レベル	ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険

暑さ指数一覧表



熱中症アラート

梅雨型熱中症

最近見た朝のニュースで「梅雨型熱中症」と言うものが紹介されていました。
「梅雨型熱中症」は湿度が高いことから、かいた汗が蒸発しにくく熱がこもりやすくなるため
起きてしまうそうです。
この熱中症は一般的なものとは異なり、じわじわ始まって進行するため本人も周囲も気付くのが遅れ、
結果的に重症化を招くことがあるそうです。
6月下旬からは最高気温も少し下がり、雨予報が続くようではまってしまいます。
対策としては、やはり水分・塩分補給は当たり前として、「隠れ脱水」を見逃さない事も大事だそうです。
見分け方としては、「唇が渴いてくる」「口内がねばついている」などの症状が出ている場合は
「隠れ脱水」と見て良いそうです。
これらの症状は他人が気付く事が出来ないものばかりなので、
自衛が重要であると再確認しました。

設備点検

私の所属する製造第三グループでは、主に浸炭炉2基、戻し炉2基と洗浄機1機を扱って生産活動を行なっています。計5基の設備の点検は稼働日点検・週点検・定期点検(年3回の連休時)と点検表に従い実施しています。

稼働日点検は1日2回行っており、日勤担当と夜勤担当がそれぞれ交代時(7時と19時)に実施します。5基の炉体の他にもそれぞれの制御盤・水槽(水位・水温)・コンプレッサー(オイル量・水抜き)・副資材の残量確認等あり、点検だけで30分以上かかります。

点検表も何枚にもなります。点検表は設備導入時にメーカーから指導を受けた項目とトラブルが発生した際、今後の予防対策として追加した項目でできています。残念ながら新たなトラブルは無くなることなく、点検表は今も変化・進化を続けています。少なくとも同じトラブルは起こさないよう作成しています。単純に項目を追加したり、○×判定の項目に管理幅を設け数値管理に変更したりしています。可能な限り正常・異常の判定をし易いように点検項目を作成していますが、難しい物も有ります。設備からの異音は正常な音を点検者が記憶していないと判断ができません。異音に気付いても設備が密集している為、反響して音の出所を特定するのに時間が掛かる事も有ります。普段から何がどこでどんな音を発しているか、意識して聞いておく必要があります。

設備の振動や熱の持ち方等も、意識しておかないと異常に気付けません。

社長によく「五感をフルに働かせて作業をして下さい。」と言われますが、本当に大事なことだと思います。

これから暑くなり、目の前の仕事だけでも精いっぱいだとは思いますが、五感を働かせて仕事するように意識してみてください。暑くなると、特に精密機械の類は熱をもって誤作動をする可能性もあると思います。火傷する可能性があるので注意が必要ですが、調節計やインバーター等、時には触って確認する事も必要だと思います。

どの部署もしっかり五感を使って設備点検を行い、稼働を停止させないようにしましょう。もちろん自身の体調管理もきちんと行い、この夏も乗りきりましょう。

S-3点検表



コンプレッサーとメタノールタンク



S-3設備



制御盤盤面(熱くて触れない事も)



他にもいろいろ点検箇所があります。

編集後記

6月のSIMCOですが、私の原稿が遅れた為、発行が大幅におくれてしまいました。申し訳ありません。特に表面担当の大橋さんには迷惑・心配をかけました。ゴメンナサイ。今期10月も鬼の佐藤さんと担当となっておりますので怒鳴られないよう気を付けます。

(裏面担当 S-3G 畑尾)